

人間社会学部 人間スポーツ学科 教育専門分野 TLO : Target and Learning Outcomes

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとるか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. キーワード 学修の参考となる重要なキーワードなど	4. ディプロマポリシー						
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
									スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを活用した指導方法を体系的に身に付け、多様な特性をもつ様々な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを幅広く活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身に付けている。	人間の実生活の中で健康及びスポーツが精神、文化、集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力を持っている。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者として求められる高い倫理観や創造的態度・論理的思考力を有している。	
教育	教育原理	T-EDU108	T	100	講義	4	「教育とは何か」に視点を置きながら、教育の理念、思想、歴史等について基礎的な知識を網羅的に学習する。	1. 教育の理念や目的を理解している。 2. 教育の歴史や思想を理解している。 3. 学校教育や社会教育等に関する基本的事項を理解できる。	教育の理念、教育の目的、教育の思想、教育の歴史、学校制度、生涯学習		○	○		○	◎
	教育相談	T-EDU109	T	100	講義	2	教育相談を心理臨床学の視点からとらえ、基本的な理論及びその実際を学修するために、多くの事例を学修する。	実践的かつ理論的な対応法は、基礎的・体系的な知識を欠くことが出来ないもので、心理臨床学に裏打ちされた教育相談の基本を体系的に理解できる。	教育相談、こころの構造、いじめ、アセスメント、カウンセリング、こころの病理、発達失調、登校拒否		○	○		◎	◎
福祉	社会福祉概論	M-SWS101	M	100	講義	4	子どもや高齢者、障害のある人などすべての人たちの尊厳が守られ、安心して生活できる地域や社会の創造に向けて社会福祉の果たす機能や役割など、基本的な知識を学修する。	社会福祉の概念や定義を理解する。その上で、社会福祉の様々な分野や関連する施策、制度、サービスについて理解を深めることができる。	社会福祉の概念、歴史的展開、権利擁護、社会福祉の理論、社会政策の基本的な視点、福祉サービスの供給と利用の過程	○	○		○	◎	
	子ども家庭福祉	M-SWS222	M	200	講義	4	子どもや家庭を取りまく地域や社会の現状を理解し、子どもが健やかに育ち、その尊厳と権利が守られる社会の実現に向けた子ども家庭福祉の全体を学修する。	子どもや家庭を取り巻く社会環境や、現代社会の子ども・子育て・子育てへの影響を理解できる。その上で、子ども・家庭への支援や施策、法制度などについて理解できる。	子どもの権利、子どもと家庭・地域、子ども・子育て支援の諸施策、児童虐待防止、社会的擁護、制度・サービス	◎	○				
	医療社会論	M-SOC311	M	300	講義	4	医療の社会的役割や影響力、またその受容について、さまざまな角度からクリティカルに考えていく。	医療社会論において論じられている具体的事例について考えるための方法とスキルを身につける。	医療社会論、健康と病の経験、病人役割、感染症と社会的排除、後生思想、専門家支配	◎	○				
心理	教育心理学	T-EDU110	T	100	講義	4	教育場面に關わる心理学として4つの柱(発達・学習・測定・評価、人格・臨床)を中心に学ぶ。教職必修科目である。	子どもや保護者の心理、学習や記憶のしくみを理解し、どのように教育評価を行ったり、生徒に接するべきかについて理解を深めることができる。	生涯発達、学習・記憶、教育評価、知能指数、発達障害、カウンセリングマインド	○	◎				
	発達心理学	T-PSY101	T	100	講義	4	乳幼児期から老年期のこころと身体の発達、各時期で遭遇する問題とそれらへの対処法を学ぶ。	人間発達の特殊性と、乳幼児期から老年期の各段階ごとの発達課題と生じやすい問題、病理の特徴を理解できる。	生涯発達、家族関係、アタッチメント、認知発達、発達障害、介護、虐待	◎	○				
	対人関係論	M-PSY207	M	200	講義	4	対人場面における人間の心理行動を社会心理学の諸理論から学修する。	対人場面における人間の心理行動を社会心理学的見地から理解するとともに、社会心理学の諸理論に対する理解を深めることができる。	思考力、知識の理解、専門知識、基礎的学修、当該領域への関心、批判的思考力、自律性	◎			○		
	社会心理学	M-PSY202	M	200	講義	4	多様な社会場面における人間の心理行動を社会心理学の諸理論から学修する。	多様な社会場面における人間の心理行動を社会心理学的見地から理解するとともに、社会心理学の諸理論に対する理解を深めることができる。	思考力、知識の理解、専門知識、基礎的学修、当該領域への関心、批判的思考力、自律性	◎			○		
スポーツ	スポーツの歴史と文化	M-SOC209	M	200	講義	4	スポーツを一つの文化として捉え、それが近現代社会のなかでどのような歴史を経て人びとに受け容れられてきたかを理解し、そこから自分の言葉で今後のスポーツのあり方を考えていくことができるようになる。	近現代社会において、スポーツがいつ頃からいかに受容されたのか、その過程でどのような軋轢や抵抗、また進歩や発展が示されたのか、従来からある価値意識とどのように融合してスポーツが展開してきたかを理解し、それを踏まえて、将来のスポーツのあり方を自分で考えられるようになる。	スポーツ、遊び、祝祭、歴史、日本近代史、日本現代史、社会史、近代化、社会変遷、社会構造、文化、規範、価値意識。				○	◎	
	スポーツ心理学 I	M-HES112	M	100	講義	2	学校教育における体育・運動、競技スポーツやレクリエーションとしてのスポーツ、健康・医療領域での運動やスポーツ、および日常生活での運動行動などについて心理学的観点から学修する。	スポーツの心理面への影響、運動学習のメカニズム、運動による健康の増進、競技者の心理などの理解を通して、心理学的観点からスポーツをより深く理解できるようにする。	運動と知覚、運動の学習と指導、スポーツと動機づけ、スポーツの社会心理、運動行動の要素、競技心理、メンタルトレーニング、スポーツ臨床		◎			○	○
	スポーツ心理学 II	M-HES240	M	200	講義	2	スポーツと発達、スポーツと「やる気」、運動行動の促進、スポーツ選手のバーンアウト、スポーツ傷害における心理サポート、運動部活動における不適応等、身体運動やスポーツと心理の関連について幅広く取り上げて学修する。	スポーツの心理学的な理解を通して、スポーツの実践者として、あるいは指導者として、より効果的にスポーツ活動を展開したり、支援することができる素地をつくる。	運動学習、スポーツと発達、モチベーション、運動による健康の増進、心理サポート		○	○	◎	◎	○
	スポーツ・アドミニストレーション入門	M-HES227	M	200	講義	2	国際スポーツ・アドミニストレーションの育成に向けて、スポーツ・アドミニストレーションの視点から基礎的な知識について学修する。	スポーツ外傷とスポーツ障害の予防法、指導者育成、イベントの企画運営能力など、「スポーツ・アドミニストレーション」に関する基本的な知識について理解できる。	スポーツ・アドミニストレーション、国際スポーツイベント、スポーツ医学、指導者		◎		◎	○	○
	スポーツ・アドミニストレーション	M-HES347	M	300	講義	2	「スポーツ・アドミニストレーション入門」、「English comprehension II」および「Communication Basic II」で得た知識を基に、「仮想イベント」を実施することで、将来スポーツ・アドミニストレーターとなるべく学修する。	スポーツイベントを実施するための基礎的知識・能力として、①スポーツイベントの理解、②イベントのニーズに即したイベントの企画と準備を身に付け、さらにそれを実施した後に、適切に評価し改善することが出来るよう能力を身につける。	スポーツ・アドミニストレーター、スポーツイベント、大学スポーツ振興の推進事業、UNIVAS		◎	○	◎	○	
	スポーツ産業論	M-HES346	M	300	講義	2	スポーツ産業は用品、施設、スポーツクラブ、プロスポーツ、メディアなど多岐にわたる。スポーツ用品産業(事業戦略、マーケティング、生産、販売促進、営業(販売)活動)における基本的な流れを学ぶ。さらに、スポーツクラブ経営、スポーツマネジメント、スポーツメディア、アスリートのセカンドキャリア等についても学ぶ。なお、本授業はミス/株式会社各部門の担当者としてスポーツビジネスに携わる関係者の事例を踏まえた講義を行う。	スポーツ産業における基本的な流れを学ぶことでスポーツの職業領域を理解することができる。	CSR、開発、スポーツ施設、経営、SDGs、アパレル、広報、プロモーション		○	○	◎		○
	ウェルネス&スポーツ	M-HES247	M	200	講義	2	ウェルネスプログラムにより自己の変革の方法を学修し、生活の質(QOL)の向上を追求する。	1. ウェルネスの理論に基づき、科学的な情報を適切に咀嚼し、望ましい生き方、生活習慣に修正していく積極的な姿勢を持つことができる。 2. 身体に高い関心を持ち、より客観的に自分の日常生活を評価(現在の自分の状態に気づき)、見直しができる。 3. 生涯スポーツとヘルスプロモーションについて学び、地域社会に貢献できる能力を身につける。	ウェルネス、健康、よりよく生きる、ウエイコントロール、身体活動、休養、ライフプランニング	◎	○	○		○	
	コミュニティスポーツ論	M-SOC320	M	300	講義	2	スポーツと地域の関係性を、振興と地域づくりの観点から理解し、スポーツによる地域づくりの種類と方法、現状と課題を学ぶ。	地域とスポーツの関係が深まってきた背景、その地域づくりの方法、効果、課題を理解し、地域づくりについて意見を持ち実際の企画をたてられる。	スポーツと地域の結びつき、スポーツイベント、スポーツとまちづくり、地域のクラブとまちづくり		○		◎	○	
	パラスポーツ論	M-HES358	M	300	講義	2	本講義では、多様な障がいを持つ人々によって行われているパラスポーツの実態について学ぶ。また、障がい者のスポーツ活動に伴う様々な問題をスポーツの特性と社会的な視点を絡めて考察する。さらに複数のパラスポーツを実際に体験することを通じて理解を深め、障がいを持つ人のスポーツ活動を指導、支援する資質を習得することを目的とする。※担当教員は身体障害者のリハビリテーションセンターと精神科病院の双方で、運動療法やレクリエーション指導の経験を持つ。その実務経験で得た知見をもとに障がいを持つ人の多様な実態を紹介することで学生諸君の理解を深めたい。	・多様な障がいの種類と、スポーツ活動実践に伴う課題を理解する。 ・パラスポーツに関わる問題を社会的な視点から説明できる。 ・障がいの特性に応じて考案されたスポーツのルールと、その基本的な考え方を説明できる。 ・パラスポーツの実践を通じ、障がいを持つ人と共にスポーツを行う資質を養う。	障がい者スポーツ ノーマライゼーション、多様なパラスポーツ実習		○			○	
	キャリア	人間社会学部特殊講義 A	M-OAR314	M	300	講義	2	学部の判断で様々な内容に関する講義主題を選び、多様で幅広い観点から学ぶ(15回相当の授業)。	講義主題について学んだことを理解し、要点をまとめ、発信できる。	主題別		◎	○	○	○
人間社会学部特殊講義 B		M-OAR315	M	300	講義	4	学部の判断で様々な内容に関する講義主題を選び、多様で幅広い観点から学ぶ(30回相当の授業)。	講義主題について学んだことを理解し、要点をまとめ、発信できる。	主題別		◎	○	○	○	
教職系	身体づくり運動(保体教職)	M-EDU206	M	200	実技	2	教員免許状(保健体育科)取得を目指す学生を対象とし、授業者および学習者の両視点から実技授業を作って、教えて、学ぶ。	指導イメージを身に付ける。自己の指導上の課題を発見する。自己の役割や責任を果たし、グループで合意形成を図りながら協力して進めることができる。	保健体育教師、資質能力、よい指導、グループワーク、アクティブラーニング		◎	○	○		○

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ナンバ	ナンバリング	科目種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー						
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
	スポーツ哲学	M-HES219	M	200	講義	2	「体育とは何か」および「スポーツとは何か」という根本問題を、哲学的立場から明らかにすることを旨とする。	前半は体育の人間存在にのっての本質的役割を、後半はスポーツの「文化性」を理解し、多様な文化的・社会的可能性、現代的問題点を把握できる。	体育概念、関係性、重層性、超越性、文化論、スポーツ構造論	○	◎	○	○	○	○
	体育史	M-HES220	M	200	講義	2	近代を中心に体育・スポーツ史上の主要な出来事や人物を取り上げ時代的、地域的な特徴を解説する。	歴史上の主要な出来事や人物について理解し、現代の体育・スポーツの諸問題について考察できる。	国民国家、近代体育、学校体育、近代スポーツ、戦時体制化の体育・スポーツ	○	◎	○	○	○	○
	スポーツ技術・戦術論	M-HES213	M	200	講義	2	試合やトレーニングで活躍するために、専門家のオムニバスの講義から技術や戦術・戦術を学修する。	様々な競技種目の①構造や現状の理解②多角的な視点からの考察③活躍するための知識や技術の習得する。	競技種目・オムニバス講義・技術・戦術・戦術・構造・現状	○	◎	○	○	○	○
	応用スポーツ医学 I A	M-HES245	M	200	講義	2	現在の運動疫学及び国の健康づくり施策、運動基準や運動指針について学んだ後運動による生理学的変化と運動実施がもたらす身体組成や生化学検査に及ぼす効果について学修する。	現在の運動疫学及び国の健康づくり施策、運動基準や運動指針について学んだ後運動による生理学的変化と運動実施がもたらす身体組成や生化学検査に及ぼす効果について習得する。	生活習慣病、介護予防、健康づくり、メタボリックシンドローム、肥満症、高血圧、脂質異常症	○	◎	○	○	○	○
	応用スポーツ医学 I B	M-HES246	M	200	講義	2	生活習慣病予防と運動による生理学的変化と運動実施がもたらす身体組成や生化学検査に及ぼす効果について解説する。また、運動実施による内科的障害や外科的障害の内容とその対処法について解説する。	幅広い年代の健康づくりのための運動の実践やハイリスク者を対象とする安全な運動指針に関する幅広い知識の理解。また、生化学検査結果の見方理解できる。	糖尿病、ロコモティブシンドローム、健診結果の読み方、内科的障害、外科的障害、虚血性心疾患、運動器退行性疾患	○	◎	○	○	○	○
	健康運動実習 I	M-SPE309	M	300	実習	1	健康づくりのための運動に用いられる種目の理論に基づいたプログラムの作成、指導技術を学修する。	幅広い年代の健康づくりに関する運動指導者にとって、運動や身体活動に関する国の政策や理論だけでなく、高齢者やハイリスクアスリートを対象とする安全な運動指導のためには、生活習慣病の幅広い知識が必要不可欠である。本実習では、これらの基礎知識を習得するとともに、運動指導の効果についても学習する。これらの理論的な背景に基づき、健康運動指導士として指導技術を実践できる能力を養成する。	ウォーミングアップ、クーリングダウン、ストレッチング、ウォーキング、ジョギング、理論に基づいた運動プログラムの作成	○	◎	○	○	○	○
	エアロビクス I	M-SPE218	M	200	実技	2	エアロビクスダンスのクラスで行う基本的な指導技術を学修し、指導できるようにする。	健康体力づくり及びスポーツ能力向上を、エアロビクス運動の理論を実践的に理解する。エアロビクスダンスのコンディショニングとして用いられているレジスタンストレーニング(自重負荷)とストレッチングの名称と動き方を理解し、正確に実演できるように運動技能を養成する。また、実技指導の技術について学び、指導力を身につける。	レジスタンストレーニング、ストレッチング、自ら手本をみせる、キューイング、指導技術	○	◎	○	○	○	◎
	エアロビクス II	M-SPE308	M	300	実技	2	エアロビクスダンスのクラスで行う基本的な指導技術を学修し、指導できるようにする。	健康体力づくり及びスポーツ能力向上を、エアロビクス運動の理論を実践的に理解する。エアロビクスダンスの基本的な名称と動き方を理解し、正確に実演できるように運動技能を養成する。	エアロビクスダンス、自ら手本をみせる、キューイング、指導技術	○	◎	○	○	○	◎
	救急・応急処置	M-HES343	M	300	講義	2	集団が集まる場所で発生する事故や病状に対処する救急・応急処置の知識と実践を学修することを旨とする。	急性障害や急性疾患に対する対応と処置の仕方、及び一次救命処置についての理解と実践を身につける。また、現場における救急対応計画について理解できる。	心肺蘇生法、AEDによる除細動、気道異物除去、三角巾による固定法、頭頸部外傷への対処、搬送法	○	◎	○	○	○	◎
	運動機能解剖学 I	M-HES108	M	100	講義	2	人体の主要な骨や骨、関節の各名称を覚え、それぞれがどのような動きを可能にしているかについて学修する。	人体の主要な骨、筋肉、および関節の名称と位置について暗記し、人間がどのようにして動きをコントロールしているか理解できる。	◎	◎	○	○	○	○	
	運動機能解剖学 II	M-HES234	M	200	講義	2	運動機能解剖学 I の知識レベルを前提として、人体の骨や骨、関節の各名称を覚えるとともに、頭部の筋・骨格、さらに神経系の基礎知識を加えて展開していく。	人体の骨、筋肉、および関節の名称と位置について暗記し、人間の実際の動作中にそれぞれがどのように関与しているか理解することが出来る。	◎	◎	○	○	○	○	
	スポーツ生理学 I	M-HES114	M	100	講義	2	スポーツ・運動を遂行する時のからだの一時的变化やスポーツ・運動の継続で適応するからだの変化について、脳神経、筋肉、エネルギー代謝、呼吸・循環系、内分泌、免疫、環境などから講述すると共に、運動の強さや時間と酸素摂取量の関係を学修する。	スポーツ・運動遂行で起こる一時的变化や継続による適応機能を脳神経系・筋系、エネルギー代謝系、呼吸・循環系、内分泌系、免疫系などの生理機能面から理解し、さまざまなトレーニングに応用できる能力を養うことができる。	スポーツ運動の一時的变化、スポーツ運動の適応、脳神経、筋肉、エネルギー代謝、呼吸・循環系、内分泌、免疫、体温の変化	○	◎	◎	○	○	○
	スポーツ生理学 II	M-HES242	M	200	講義	2	脳神経、筋肉、エネルギー代謝、呼吸・循環、内分泌、免疫、環境などの生理的機能についてスポーツ生理学 I で教授できなかった内容をより詳細に講述し、これらの生理的機能と運動技能習熟やトレーニング適応の関係を学修する。	スポーツ・運動遂行に関与する脳神経、筋肉、呼吸・循環、エネルギー代謝、内分泌、免疫、環境などの生理的機能、運動技能習熟やトレーニング適応の機序をより詳細に理解し、各種スポーツトレーニングに応用できる能力を養うことができる。	スポーツ運動遂行、神経・筋機能、排洩機能、呼吸・循環機能、内分泌機能、ス運動技能習熟、ポーツトレーニング適応	○	◎	◎	○	○	○
	スポーツ栄養学 I	M-HES113	M	100	講義	2	食事・栄養の基礎を学んだうえで、スポーツと食事・栄養の関係、消化と吸収、スポーツ選手の身体組成・体格について学習する。また、競技特性に応じたトレーニング時の栄養補給法、試合や合宿時の栄養補給法、サプリメントやエルゴジェニックの摂取法について学修する。	1) 栄養素や食品、食事の基礎知識を習得し、身体活動量に応じた適切な摂取ができていないか評価できる。 2) 期分け(トレーニング期、試合期、合宿期、オフ等)に応じた適切な栄養補給法が理解できる。 3) サプリメントやエルゴジェニックの正しい知識を身につけ、必要性の有無を確認したうえで、適切に選択できる。	スポーツと栄養・食事、消化吸収、競技特性別の栄養補給法、補食とリカバリー、サプリメント、エルゴジェニック	○	◎	◎	○	○	○
	スポーツ栄養学 II	M-HES241	M	200	講義	2	スポーツにおける生理学的変化をふまえて、スポーツ選手が抱える問題(貧血、骨障害、摂食障害、月経障害、特殊環境下、増量と減量)について、その原因と評価、食事法について学ぶ。また、最新線のスポーツ栄養に関するエビデンスや栄養マネジメントについて学ぶ。加えて、健康のためにスポーツを行っている小児期から高齢者までのライフステージ別の栄養と身体活動に関する現状・課題と健康増進のための対策について学修する。	1) スポーツ選手が陥りやすい問題とその対処法について理解・説明できる。 2) スポーツ栄養マネジメントについて説明できる。 3) 小児期から高齢者に至るまでの食事と運動に関する問題点とその対処法を説明できる。	スポーツと貧血、スポーツと骨、スポーツと月経障害・摂食障害、書熱環境下のスポーツ、スポーツ選手の増量・減量、栄養マネジメント、ライフステージごとの食事と運動	○	◎	◎	○	○	○
	スポーツ社会学 I	M-SOC101	M	100	講義	2	スポーツを様々な視点から捉え、基盤となる構造や現状、技術を学習し、特徴と意義を理解する。	スポーツの基本的構造や現状を理解し、社会的に考察できる。以後の学習に繋げる知識や技術を得る。	スポーツの歴史、スポーツの意義、スポーツの特徴、社会の中のスポーツ	◎	○	○	○	○	○
	スポーツ社会学 II A	M-SOC210	M	200	講義	2	スポーツが社会の多様な要素とどのように影響を及ぼし合っているか、社会的に位置しているのかを、主にオリンピックを事例として学修する。	スポーツ、とりわけオリンピックについて、一般的な「良いイメージ」にとらわれず、それと社会の関係、課題等を理解できる。	オリンピックの理念、オリンピックと国家、オリンピックとビジネス、オリンピックと政治	○	○	○	○	◎	○
	スポーツ社会学 II B	M-SOC211	M	200	講義	2	社会におけるスポーツの現状や多様な問題について、それらが社会の多様な要素とどのように関連しているかについて学修する。	スポーツにおける多様な現象と問題点について、スポーツそれ自体のみに原因を求めるのではなく、社会の要素と関連付けて理解できる。	スポーツとジェンダー、スポーツのグローバル化、スポーツと暴力、キャリア形成	○	○	○	○	◎	○
	生涯スポーツ論	M-SOC212	M	200	講義	2	生涯スポーツの歴史や社会的背景、意義、また具体的な政策やイベントを学ぶことにより、健康で豊かなライフサイクルを送るための基礎知識を得る。	生涯スポーツの基本的な考え方や理論を理解し、スポーツ界の現状や課題を様々な観点から捉え、考察できる。加えて、将来スポーツ界で活躍できる知識を得る。	スポーツ基本計画、生涯スポーツ社会の実現、生涯スポーツの歴史、政策、イベント	○	○	○	◎	○	○
	野外教育論	M-HES224	M	200	講義	2	野外教育や野外活動において、安全に楽しむための基礎知識や指導法について学修する。	野外教育の概念と目的および歴史を理解した上で、実際に野外キャンプを行う際に指導者として必要な安全管理、効果的な指導方法を身につける。	人間と自然の関わり、野外教育の歴史、キャンプ、キャンプカウンセリング、ハードルの設定、アイスブレイキング、ゲームアクティビティ	○	○	○	○	○	○
	レクリエーション論	M-HES225	M	200	講義	2	レクリエーションの意義と重要性、支援者としての具体的な効果的な実践方法を学修する。	学校、地域、福祉施設などの場でのレクリエーションを実践する力、事業を計画する力を身につける。	レクリエーションの意義、支援者の態度・テクニック、アクティビティの選択、ハードルの設定、アイスブレイキング、	○	◎	○	◎	○	○
スポーツ理論専門科	スポーツトレーニング論 I	M-HES243	M	200	講義	2	スポーツ選手のトレーニング指導に必要な理論や実践的な方法についての基本的事項を理解することを目的とする。	履修者はスポーツパフォーマンスを向上させるための基本的な運動プログラムについて理解し、その作成ができるようになる。	ウェイトトレーニング、筋力、スピード、パワー、可動域、持久力	◎	◎	○	○	○	◎
	スポーツトレーニング論 II	M-HES244	M	200	講義	2	スポーツトレーニング論 I で学んだ基礎を発展させ、各種競技スポーツにおける特性を考慮し、競技スポーツパフォーマンスを向上させるために必要な専門的なトレーニング方法の理論と実践的な進め方を学修する。	履修者は各種競技スポーツ種目における体力の特性や年齢特性について理解し、その競技や年齢に応じたトレーニングプログラムを作成できるようになる。	競技特性、ビーキング、ジュニア、アスレチックトレーニング	◎	◎	○	○	○	◎

授業科目 区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー									
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6				
									スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを活用した指導方法を体系的に身に付け、多様な特性をもつ様々な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集・分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを応用し、社会的に必要となるコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間の日常生活の中で健康及びスポーツが精神・文化・集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力を有している。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者として求められる高い倫理観や創造的態度・論理的思考力を有している。				
人間スポーツ学 科学科別専門科目	コンディショニング演習	M-HES354	M	300	講義	2	目的に応じたコンディショニングプログラムを作成、実践することを通して、指導に必要な実践能力を学修する。	・基本的なエクササイズ等の指導ができる。 ・各目的に対応したプログラムを作成できる。	プログラムデザイン、エクササイズの実践、エクササイズ等の指導、競技特性、測定評価			○			○	◎		
	衛生・公衆衛生学	M-HES304	M	300	講義	4	社会や環境とヒトの健康の保持増進との関わりについて学修する。	身近な環境問題と健康、生活習慣病や高齢者問題、人口問題と医療費、学校や地域、職域における健康づくりの現状について理解できる。	健康、環境、社会、人口、医療、保健				○		◎			
	健康管理論	M-HES357	M	300	講義	2	健康管理に関する基礎的・実践的な理論・方法を修得し、実践の活用に必要な能力を培う。	・健康概念、ヘルスプロモーション、健康づくり施策等、健康管理の基礎的理論・枠組みについて学修する。 ・栄養、運動、生活習慣病等、健康管理に必要な基礎的知識・方法について学修する。 ・健康管理の基礎的・実践的な学修を踏まえ、地域・学域・職域での健康管理の実践的活用に必要な能力を培う。	健康概念、ヘルスプロモーション、健康づくり、健康成立要件、危険因子		◎	○						
	スポーツ政策	M-HES326	M	300	講義	2	わが国のスポーツ政策を中心として、スポーツ環境の現状と課題におけるスポーツ政策の意義や役割について学修する。	スポーツ政策の基本的な変遷や財源、組織等について理解し、スポーツ界の現状や課題を様々な観点から捉え、考察できる。スポーツ界で活躍できる知識を得る。	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、スポーツ振興政策、海外のスポーツ政策、地域	○		◎						
	健康運動実習Ⅱ	M-SPE302	M	300	実習	1	高齢者の体力測定と評価、介護予防・運動や生活習慣病の適切な運動療法を学ぶ。	高齢者やハイリスク者を対象とした安全で効果的な運動指導の補助ができる。	高齢者、ハイリスク者、介護予防、生活習慣病、運動療法、高齢者の体力測定と評価、介護予防に関する体力測定と評価			◎	○					
	応用スポーツ医学Ⅱ(含実習)	M-HES353	M	300	実習	2	運動を安全かつ効果的に行うために、運動実施による生理学的変化と運動実施による身体組成や生化学検査への影響を学習する。	実習を通して運動による生理学的変化について理解し、実践に活用できる。	スポーツ、医学、運動負荷試験、救急蘇生、外科的処置			◎						
	エアロビクスⅢ	M-SPE402	M	400	実技	2	エアロビクスのクラスで行う基本的な指導技術を学習し、指導できるようにする。	エアロビクスやコンディショニングトレーニングの動きを洗練し、かつわかりやすく指導できる。	エアロビクス、レジスタンストレーニング、ストレッチング、自ら手本をみせる、キューイング、指導技術の向上			○				◎		
	スポーツ医学	M-HES239	M	200	講義	2	安全で健康に運動・スポーツを実施するために、スポーツ医学を内科的・スポーツ障害の観点から理解する。主な内容として、こどもの発達障害、生活習慣病への運動・スポーツの有効性、スポーツ選手が起こしやすい疾病、スポーツ障害の発生、リハビリ、予防、オーバートレーニング症候群、アンチドーピングなどを学修する。	生活習慣病に対するスポーツの有益な効果、過度な使用によるスポーツ障害、さらにはオーバートレーニングの心身へ異常、アンチドーピングを理解するとともに、スポーツによる利益や不利益を医学的観点から理解することができる。	発育発達特長、スポーツと各器官への内科的影響、過度な使用と内科的影響、スポーツ障害の発生、リハビリ、予防、ドーピング			◎	◎			○		
	実践スポーツ英語	M-ENG302	M	300	講義	4	スポーツという世界共通のエンターテインメントプログラムを教材にして親しみやすく分かり易い英語学修をすることを目的とする。	スポーツ関連の英文の読解、発話の練習、映像・音声等を教材にして、海外で活躍することを目標とする選手が身につけておくべき英語力を涵養する。	スポーツ英語、英文読解、発話、内容についての議論						◎			
	学校保健	M-HES306	M	300	講義	4	教員免許状(保健体育科)取得を目指す学生の必修科目であり、学校保健活動に関する基礎的事項やマネジメントなどについて学ぶ。	内容理解、関連資料の活用、グループワークでの発言や進行、教育実習等や実際の学校現場において、理解したことを活用できるレディネスを身につける。	学校保健、保健体育教師、資質能力、健康教育、理論と実践							◎		
	スポーツ運動学	M-HES318	M	300	講義	2	運動の特性、運動構造と観察の方法、運動学修の位相などの運動指導に必要な観点を学修する。	・運動観察の視点を理解できる。 ・自身の動感を言語化できる。 ・運動の発生と学習過程を理解できる。	運動指導、運動財、運動観察、動感、運動構造、運動対象、学習と位相			○	○					
	体力測定評価	M-HES226	M	200	講義	2	体力・運動能力測定の意義と測定種目および方法、結果の評価方法について学修する。	体力・運動能力測定の意義と手法を理解し、安全で正確な測定法とその評価法を身につける。	体力、運動能力、体力測定法、体力評価法、運動能力測定法、運動能力評価法	○		○	◎					
	運動処方論Ⅰ	M-HES235	M	200	講義	2	運動習慣は、生活習慣病やライフスタイルを改善し健康寿命を高めることが期待される。近年では、健康づくりのために運動処方概念が確立されてきている。本授業では、運動処方の理論や実践の背景となる科学的根拠を解説し、健康チェック、メディカルチェック、体力測定、体力判定の考え方を理解できるように運動処方の基礎的理論を学修する。	健康づくりの運動を安全でしかも楽しく継続させるために、必要な体力的・医学的・科学的な運動処方理論(運動様式、運動処方の原則である運動強度・強度・時間・頻度・時刻・期間)を理解し、理論を背景とする運動処方のプログラム作成法を習得することができる。	ライフスタイル、運動処方の概念、運動処方の理論と実践などの科学的・健康チェック、メディカルチェック、形態・体力測定、総合判定、運動処方のプログラム作成			◎	○			◎		
	運動処方論Ⅱ	M-HES348	M	300	講義	2	運動習慣は生活習慣病やライフスタイルを改善し健康寿命の充進が期待される。本授業では、運動処方論Ⅰで学んだ理論を背景に運動処方プログラムの具体的な作成法について演習を行いながら学修する。	運動処方論Ⅰで学んだ理論を運動処方のプログラムを作成するために必要な方法を学び、より具体的に実践できる能力を養うことができる。	運動処方のプログラム作成、具体的な実施方法、より実践的な手法、演習			◎	◎			○		
	スポーツバイオメカニクスⅠ	M-HES350	M	300	講義	2	本講義では、解剖学的及び物理学的な観点から立つ、歩くをはじめとしたスポーツ活動の基本となる行動様式について、分析する方法やその考え方を学ぶことを目的とします。	履修者は機能解剖学や物理学の視点に立つて人体の構造・動作の機序を理解し、基本的な人間の動作のメカニズムについて説明できる。	てこモーメントアーム、関節モーメント、立位のバランス、歩行の原理、ウェイトトレーニングのメカニクス			◎	◎			○		
	スポーツバイオメカニクスⅡ	M-HES351	M	300	講義	2	スポーツバイオメカニクスⅠで学んだ基礎を発展させ、各種スポーツ動作の分析について、その考え方が発生する理由を理解することを目的とします。	基本的なスポーツ動作である投げる、打つ、走る、跳ぶ等の運動メカニズムについて説明できる。その力をさらに発展させ理想的な動きの秘訣やけがの発生メカニズムについての応用することができる。	投動作、走動作、跳躍動作、運動メカニクス			◎	◎			○		
	国際スポーツ文化論	M-HES309	M	300	講義	4	(近代)スポーツを、民族スポーツや伝統スポーツと比較し、歴史と社会との関わりから学修する。	民族スポーツ、近代スポーツについてその文化の特徴を多面的にとらえることができる。	未開社会のスポーツ、古代社会のスポーツ、近代スポーツの誕生、スポーツの象徴性、スポーツ文化比較			○			◎			
	スポーツ教育学	M-HES321	M	300	講義	4	「スポーツ」を人間の文化活動における「プレイ」として多様にとらえ、学生が自らの関心を喚起し、スポーツ教育のテーマを設定・研究していくプロセスを学ぶ。	テーマを自ら発見し、探求する手法を身につけ、他者と協力して課題を遂行することを学ぶとともに、受け身ではなく主体的に学び、自らの意見を述べる力を身につける。	学校教育、体育、プレイ(遊び)、コミュニケーション活動における多様な営み、テーマの設定・研究のプロセス			◎				○		
	生涯スポーツ概論	M-HES316	M	300	講義	4	生涯スポーツの歴史や社会的背景、意義、また具体的な政策やイベントを学ぶことによって、健康で豊かなライフスタイルを送るための基礎知識を得る。	生涯スポーツの基本的な考え方や理論を理解し、スポーツ界の現状や課題を様々な観点から捉え、考察できる。加えて、将来スポーツ界で活躍できる知識を得る。	スポーツ振興基本計画、生涯スポーツ社会の実現、生涯スポーツの歴史、社会的背景、意義、具体的な政策やイベント			◎				○		
	スポーツビジネスマネジメント	M-HES331	M	300	講義	4	スポーツビジネスの特徴について理解した上で、スポーツクラブや施設の運営を行うための基本的な知識とノウハウを学修する。	スポーツ産業の基本的な考え方や理論を理解し、スポーツ界の現状や課題を様々な観点から捉え、考察できる。スポーツ界で活躍できる知識を得る。	みるスポーツ、するスポーツ、ささえるスポーツ、スポーツプロダクト、ファンマネジメント、クラブ運営			○	○		◎			
	運動療法論	M-HES352	M	300	講義	2	代表的な生活習慣病の症例を通して、適切な運動や生活動作、運動の実施方法や注意点、効果の確認方法等について学習する。運動プログラムの作成についても学ぶ。	代表的な生活習慣病の症例において、運動や生活動作が適切なのか、運動の実施方法や注意点、効果の確認方法を身につけて運動プログラムが作成できる。	生活習慣病、介護予防、健康づくり、メタボリックシンドローム、肥満症、高血圧、脂質異常症、運動プログラム			◎				○		
	健康産業施設等現場実習	M-HES408	M	400	実習	3	健康産業施設等現場実習(事前)、実習中(実施中)、実習後(事後)において必要な準備と実践を行う。現場実習を通じて、運動と健康づくりの重要性や運動に関わる指導者としての役割、授業で学んだ基礎知識が現場でどのように活かされているのかを体験する。また、運動指導者として必要な基礎力、応用力について理解する。また、本授業は健康づくりの現場等での実務経験を持つ教員がその経験を活かし、健康づくりの中で健康運動指導士に求められる実践的、具体的な役割、知識、スキルを学ぶことができる。	健康産業施設等現場実習(事前)、実習中(実施中)、実習後(事後)において必要な準備と実践を行う。現場実習を通じて、運動と健康づくりの重要性や運動に関わる指導者としての役割、授業で学んだ基礎知識が現場でどのように活かされているのかを体験する。また、運動指導者として必要な基礎力、応用力について理解する。また、本授業は健康づくりの現場等での実務経験を持つ教員がその経験を活かし、健康づくりの中で健康運動指導士に求められる実践的、具体的な役割、知識、スキルを学ぶことができる。	健康運動指導士、インターンシップ、マナー、ホスピタリティ、外部施設、体験			○			◎		○	◎
	スポーツ科学実習・陸上競技	M-SPE217	M	200	実技	1	様々な陸上競技の種目を実際に行い、その特性、ルールを学修する。	陸上競技の各種目のコツをつかみ、一定の水準の記録に到達できる。また、安全に競技を遂行し、サポートする能力を身につけることができる。	100m走、走高跳、ハードル、リレー			◎				○		

授業科目 区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	講義 演習 実習 PBL など	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとるか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. キーワード 学修の参考となる重要なキーワードなど	4. ディプロマポリシー					
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
										スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを活用した指導方法を体系的に身に付け、多様な特性をもつ様々な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを応用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間の実生活の中で健康及びスポーツが精神・文化・集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者として求められる高い倫理観や創造的態度・論理的思考力を有している
スポーツ 実技 専門 科目	スポーツ科学実習: サッカー初級	M-SPE206	M	200	実技	1	個人の技術練習を中心に、そこで習得した技術を試合の中で発揮することができるようにするための学修をする。	個人技術を向上させるとともに、チームスポーツとしてのサッカーの技術や戦術を習得できる。	サッカー技術・戦術・戦略・チームスポーツ・試合		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習: サッカー中級	M-SPE207	M	200	実技	1	個人から、グループ戦術へと発展させ、グループでの攻撃と守備を学ぶ。	攻撃で数的優位を作りゴールを奪い、守備は相手にスペースを与えずボールを奪える。	サッカー・個人技術・グループ戦術・攻撃・守備・戦略		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習: ダンス	M-SPE211	M	200	実技	1	教育現場でダンスの授業を指導できるように、いろいろなジャンルに合わせたダンスの基礎、表現方法を学ぶ。	教育現場で体育の指導者として生徒の前で踊って見せられるくらいまでの基礎的技術を体得できる。	リラクゼーション、リズム練習、ステップ、身体表現、動きのバリエーション、創作ダンス		◎		○		○
	スポーツ科学実習: 器械体操	M-SPE204	M	200	実技	1	マット、鉄棒、とび箱の各運動の基本的な技の習得を目指すとともに、段階的指導方法や練習方法を理解し、実践する。	運動構造を理解・実践し、指導できる域に達することが必要である。同時に、授業の進め方、展開方法をも習得できる。	マット運動、鉄棒、とび箱、回転感覚、空間認知能力、逆さ感覚、巧緻性、身体認識力		◎		○		○
	スポーツ科学実習: バasketボール	M-SPE213	M	200	実技	1	Basketボールの技術構造やルールを理解し、集団的技術や個人的技能を獲得し、基礎的なゲーム展開の方法を実習する。	・技術の構造とルールの理解 ・集団的技術や個人技能の実践 ・ファンダメンタルの実践と理解 ・ボールゲーム、チームスポーツの理解	チームスポーツ、ボールゲーム、技術構造、ルール、個人戦術、集団戦術		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習: バレーボール	M-SPE214	M	200	実技	1	個人の基本的技能を身につける。ルールの理解、協調性を養う、バレーボールの特性や楽しさを体験する。	生涯スポーツの基礎づくり、スポーツの意義の認識、目標や課題の設定、ルールの理解およびゲーム方法の工夫、スポーツの楽しさを体得、基本的技術の獲得ができる。	バレーボールの特性・楽しさ、技能、ルール、ゲームの工夫、生涯スポーツ		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習: ソフトボール	M-SPE210	M	200	実技	1	投・打・走・捕など、基本的な技術や戦術について学習する。	基本的な技術や戦術を学び、それらを習得する練習の具体的な方法を学習して実践できるようにする。	技術・精神・判断・攻撃・戦略・知識		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習: ゴルフ初級	M-SPE205	M	200	実技	1	ゴルフというスポーツの技術的な側面を基本から学ぶとともに、プレーをするうえでのマナーに関しても、指導する。	ショットやバッティングなど、多岐にわたるゴルフの基本を習得し、実際にゴルフコースでプレーできるまでのレベルの獲得を目指す。	エチケット、ゴルフクラブ、ショット、バッティング		◎		○		○
	スポーツ科学実習: 柔道初級	M-SPE208	M	200	実技	1	初めて柔道を学ぶ中・高校生に対する、受け身、組み方、体さばきなどの指導方法を修得するための学習をする。	初めて柔道を学ぶ中・高校生に対して、安全に効果的に指導することができる。	柔道衣の着方、礼法、受け身、組み方、体さばき、投げ技		◎		○		○
	スポーツ科学実習: 水泳	M-SPE209	M	200	実技	1	練習方法及び指導法の習得、泳力の向上、指導能力の獲得、また健康・体力づくり、生涯スポーツとの関連を学ぶ。	4泳法の推進メカニズムの理解、泳法の習得、100m個人メドレー完泳、指導法と実践的な指導能力の獲得、水の特性の理解、水中での自己保全能力、完全管理能力を養うことができる。	4泳法とその泳力、指導法と指導力、水の特性、水の安全、生涯スポーツ		○	○	◎		
	スポーツ科学実習: 野球初級	M-SPE216	M	200	実技	1	お互いが気を遣い、「楽しむスポーツ」というよりも「競技スポーツ」として授業を行う。	ゲームに勝ったり技術が上手いということよりも、チームメイトだけではなく対戦相手への思いやりや助け合う心を養うことができる。	心・技・体、公德心		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習: テニス初級	M-SPE212	M	200	実技	1	On Courtの授業では、基本的なショットの打ち方を学ぶ。講義では、テニス用語、スコアの数え方、シングルス・ダブルスの試合方法、テニスのマナーなどを習得する。	簡単なダブルスができる程度のテニス技術を身につける。テニスのルール、マナー、テニス界の現状・歴史を学び、テニスを通しての外交ができ、テニスの会話が弾む知識を得ることができる。	基本的なショットの打ち方、シングルス・ダブルスの試合方法、テニスコートにおけるマナー、テニス観戦のマナー		◎		○		○
	夏期野外実習	M-SPE202	M	200	実技	1	キャンプを安全に実施するための知識と技術を身につけ、小集団活動を通じて良好な人間関係を築くための要点を学び、一人ひとりが「良きキャンパー」となるための学習を行う。	1. キャンプを実施する上で必要となる基礎知識及び技術の習得、2. 共同生活の中で、望ましい人間関係を築く、3. 組織キャンプにおいて、生活班の指導ができる。	テントの設置、野外調理、水辺野外活動、キャンプファイヤー、人間関係を作るグループワークゲーム、自然を感じる野外ゲーム		◎		○	○	○
	冬期野外実習	M-SPE307	M	300	実習	1	スキーの技能を習得すると共に、技術体系や指導法、安全対策など、冬期野外活動の実践に必要な知識を学ぶ。	スキー技能の向上と技術体系を理解し、共同生活の中で、望ましい人間関係を築くことができる。	スキー技術体系、技能講習、安全対策、集団生活、クロスカントリー		◎		○		○